

東海大 阪口選手 箱根駅伝総合優勝に貢献

第95回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)が1月2、3日に行われ、東海大3年の阪口竜平選手(男山三中出身)が出場し、チームを総合優勝に導く走りを見せました。

昨夏、レース中に左足首の靭帯を損傷し、長いリハビリ期間が続いた阪口選手。焦りの気持ちもある中、監督からの「焦らず、今できることをしよう」という言葉を励みにリハビリと練習に取り組み、箱根への出場を掴みとりました。

復路7区を任された阪口選手は、2位でたすきを受け取るもトップとの差が1分8秒あり、前の選手が見えない中でのレースに。しかし、監督からの「慌てずに前半入って、後半で勝負しよう」という指示と、「自分の力を発揮すれば追いつける」という自信を胸に軽快な走りでの前を追い、後半でギアを上げていくとトップとの差を4秒まで縮め、区間2位の記録でたすきをつなきました。

阪口選手の快走で勢いに



復路7区を走る阪口選手
(阪口選手のご両親より提供)



第95回東京箱根間往復大学駅伝競走
東海大学総合優勝祝賀セレモニー
キャンパスがある平塚市の庁舎で監督らと優勝報告を行う阪口選手(右から4人目)(平塚市提供)

乗ったチームは、8区で先頭に立つとそのまま逃げ切り、大会新記録で初の箱根駅伝総合優勝を果たしました。

阪口選手は「昨年は故障で苦しみ、(大学三大駅伝の)出雲と全日本で走れなかった分、箱根への思いが強かったので、優勝できてうれしいです。今後は大学三大駅伝の三冠と箱根の二連覇を目指したい。また、東京オリンピック出場も目指して準備していきたいです」と力強く話していました。

三原選手 全国女子駅伝で区間賞



愛知を抜いてトップを走る三原選手(京都新聞社提供)

皇后盃第37回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会(全国女子駅伝)が1月13日、京都市内で開催され、立命館宇治高校1年の三原梓選手(男山東中出身)が京都代表として出場し、区間賞の走りでもチームの準優勝に貢献しました。

2年連続で代表入りした三原選手。「前回は走れず、その悔しさは忘れていないし、出られない人の気持ちもわかる。その人たちの分も結果を出す」と強い気持ちで大会に臨みました。

トップの愛知と10秒差でたすきを受け取った三原選手は、5区で力強い走り。「ラスト1kmで勝負しよう」と意識していた」と、終盤で愛知を抜いてトップに立ち、区間賞の走りでもたすきをつなきました。

チームは愛知にかわされ、2年連続の準優勝となりましたが、三原選手は全国女子駅伝デビューでしっかりと結果を残しました。

三原選手は「区間賞は驚きでしたが、タイムはそこまでだったので、少し悔しさもあります。どれだけ結果を残すがが京都の優勝につながると思うので、来年は区間記録を狙える力を付けられるように頑張りたいです」と話していました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

新時代へ羽ばたく

平成最後となる「成人式」が1月14日、文化センター大ホールで行われ、新成人497人(対象者707人)が振り袖や羽織袴、スーツ姿で出席し、成人としての新たなスタートを切りました。

第一部の式典は、市内で活動する和太鼓サークルの迫力ある和太鼓演奏で開会。その後、堀口市長と森川議長から新成人たちにお祝いの言葉が贈られました。

また、新成人代表の誓いの言葉では、巖雅さんと岡本喜代さんが、昨年に発

平成最後の成人式

生じた大阪府北部地震や台風などによる被害に触れ、「これからは地域のために何かできるかを考え、支える立場となることで社会に少しでも貢献できるように、一日一日を大切に生きていきます」と述べ、成人として社会の力となる決意を新たにしていました。

第二部では「新成人のつどい」が同センター小ホールで行われ、学生時代の恩師たちも出席。新成人たちは懐かしい顔ぶれに笑顔を見せながら、思い出話に花を咲かせていました。



晴れ着姿で会場に集まる新成人たち

生涯学習センター 開館20周年記念講演会

人との交流 地域や経済元気に

生涯学習センターの開館20周年を記念した講演会が1月20日、同センターで行われ、元京都府知事の山田啓二さんが「生涯学習のあり方～心豊かに生きる方法～」をテーマに、市民など210人の参加者を前に講演しました。

現在の社会は人口減少、少子高齢化により孤立し、幸せが阻害されている面があるのではと指摘する山田さん。「人と人が交流することで、経済や地域が元気になる」と話し、

その取り組みとして知事時代に実施した地域力再生プロジェクトや府民公募型整備事業など、さまざまな施策を紹介しました。

また、社会や人、ツールが多様化していることに触れ、「それらを学ぶことで、新しい知識を身に付け、多様な人々と絆を作りましょう。皆さんがそうした新しい社会を作るコーディネーターになってください」と、来場者たちが人と人の交流の懸け橋となってくれることを期待していました。

元京都府知事
山田啓二さん



講演する元京都府知事の山田啓二さん